

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月27日

協議会名: 那珂川町地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
有限会社馬頭観光タクシー	<p>運行系統名: 那珂川町デマンドタクシー (通称:なかちゃん号)</p> <p>運行区域: 那珂川町全域 (乗降場所48箇所 町内:47箇所 町外:1箇所)</p> <p>運行日: 月曜日～金曜日</p> <p>運行時間: 7:30～15:30 6便/日 (7:30、9:00、10:30、12:30、 14:00、15:30)</p> <p>運賃: 300円/回</p>	<p>「公共交通マップの作成等、利用促進にあたっては、生活様式に合わせた利用を解説する案内チラシを作成して配布するなど、住民にとって分かりやすい周知を行うことも検討していた」との評価結果を受けて、公共交通ガイドブックを作成し、広報啓発活動による利用促進の取組を実施した。また、民生委員など福祉団体と協力し、利用促進を行った。</p>	<p>A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>C</p> <p>【目標】 利用者数:11,000人/年 収支率 :15.3%</p> <p>【実績】 利用者数:7,117人/年 収支率 :9.2%</p> <p>【分析】 前年7,073人と比較して利用者の増加となった。公共交通ガイドブックによる周知活動によりデマンドタクシーが認知され、利用者が増加したが目標値には届かなかった。</p>	<p>・学校部活動の地域移行等に伴う、児童・生徒への利用促進策等を検討する。 ・デジタル技術などの新しい技術を導入して、利用者の利便性向上や利用促進を図る。</p>

事業実施と地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画との関連について

令和8年1月27日

協議会名:	那珂川町地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>那珂川町地域公共交通計画 基本方針1:いつまでも利用できる公共交通の確保 基本方針2:くらしを支える効率的な公共交通の確保 基本方針3:情報発信による利用しやすい環境づくり</p> <p>上記を踏まえたフィーダー系統の目的・必要性 デマンドタクシーは、主に地域間の移動と公共交通空白地域・公共交通不便地域の解消を担っている。また、高齢化が進み、運転免許返納者や高齢化世帯などが増加する中で、当該運行は生活交通手段として維持する必要がある。</p>